



23. 12.3-10

ニリンソウ自生地 保護活動情報

赤塚公園ニリンソウを守る会
akatsukanirinso@gmail.com

都立赤塚公園
サービスセンター
03-3938-5715

編集責任：運営サポーター／木村



Since 1982 ニリンソウ保護活動 41 年目
2023 年度は東京都都市公園制度制定 150 周年

赤塚公園ニリンソウを守る会 活動予定

・2024/1/14 大門自生地の手入れ

歓迎：高島高校生徒会さんのボランティア
10:00 大門観察台集合、11:30 頃解散

・2024/2/11 ニリンソウシーズン前の手入れ

10:00 大門観察台集合、11:30 頃解散

・2024/3/10 ニリンソウシーズン前の観察会

10:00 大門観察台集合、11:30 頃解散

★団体活動ではありません。参加者個人での自主活動の集まりです。誰でも参加できます。活動現場ではリーダーの指示に従っていただきますが、自由参加です。

※問合せ：左記赤塚公園サービスセンターへ

12/3=大門自生地、12/10=八丁目の林 今年の手入れ活動 無事終了しました

真冬のように寒かったり、夏に戻ったりの不安定な気候が続いている今年の秋から初冬です。植物も「寒くなれば枯れる」という「常識」どおりにはいかないで、いつまでも青々としているものがあり、草刈りも気をつかわなければならないのですが、雨天中止は1回だけで済みました。12月はまた赤塚公園友の会に参加している諸団体がそれぞれの活動日に清掃を行う「クリーンアップ月間」。のぼり旗を立てての活動でした。



左はマンリョウ、
右はヤブコウジ、それぞれの
実。作業中にこ
うい
うの
を見
つけ
ると
ほっ
とし
ます。
もち
ろん
残し
てい
ます。



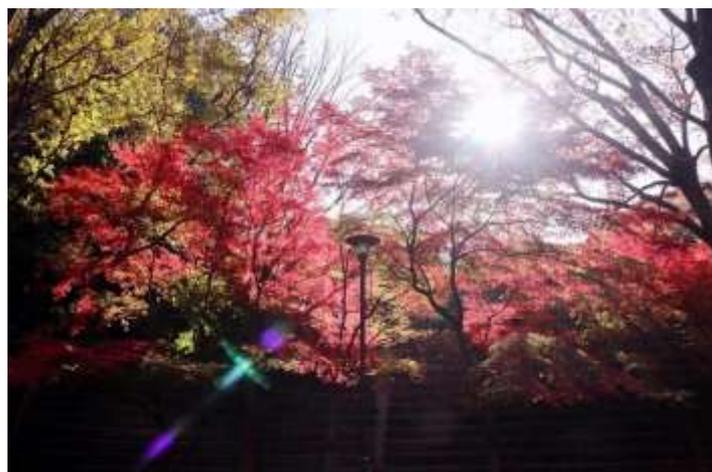


12/3の大門ニリンソウ自生地が続いて、12/10は赤塚八丁目の林の手入れを行いました。ここは夏場にクサギの刈り取りを行ったのですが、半年もたないうちにまた藪状態になってしまいました（上の写真）。17人参加、実時間1時間15分で、下の写真のように、すっきりとした林床（＝りんしょう、林の中の地面のこと）になりました。



この赤塚八丁目の林は狭いエリアなのですが、希少な植物が次から次へと生えてくる不思議な場所です。勢いはかなり衰えてしまいましたがシラヤマギクの花が咲いていました（右の上）。植物に詳しいお仲間があらかじめマーキング（目印）をしてくれていたの、刈り取らないで済みました。

右の下はキチジョウソウの花。花も実も美しいのですが、常緑で地面を覆ってしまうので、他の植物の生育を妨げる場所では、ご遠慮いただいています。



赤塚公園のあちこちで、紅葉・黄葉がきれいでした。

「都内最後の自然」が残る赤塚公園のみどりを残す活動の持続・継続を祈りながら今年の手入れ活動を終了しました。

来年も頑張りますので、みなさまのご協力・ご支援・ご参加、よろしくお願いいたします。